



山口市シェアサイクル実証事業に係る報告書

実証期間 令和2年9月～令和8年9月
(報告期間 令和2年9月～令和8年2月)

令和8年3月31日

00 報告書の構成

- 01 山口市シェアサイクル実証事業の目的とこれまでの経緯
- 02 利用件数と利用料金収入の推移（令和2年9月～令和8年2月）
- 03 利用料金収入と費用の推移（令和2年度～令和7年度見込）
- 04 ポート数と自転車台数、サイクルラック数の推移
- 05 ポートの位置と傾向
 - 参考資料① 貸出ポートと返却ポートのマトリックス図（R7.4～R8.2）
 - 参考資料② 貸出ポートと返却ポートのマトリックス図（R2.9～R8.2）
- 06 御意見フォームやコールセンターへの改善要望
- 07 令和7年度利用者アンケートの結果
- 08 実証実験で見えてきた課題
- 09 今後目指すべき姿

01 山口市シェアサイクル実証事業の目的とこれまでの経緯

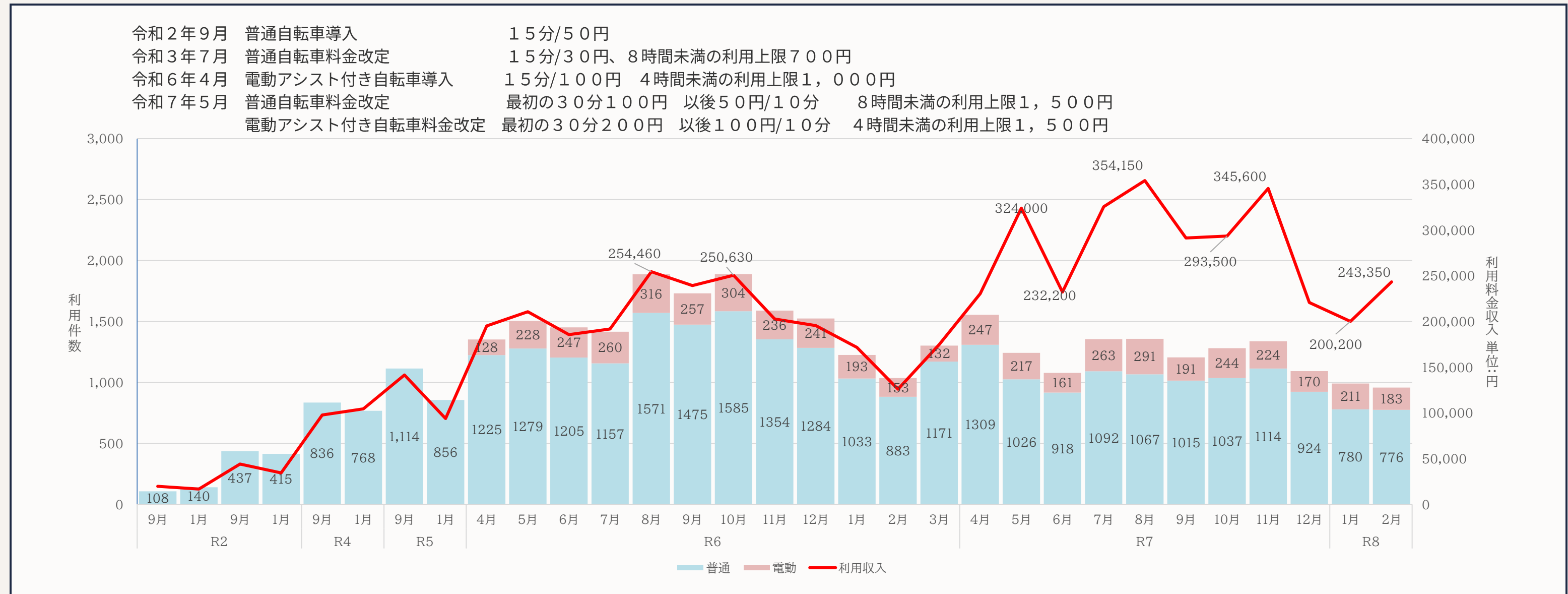
本市では、市民や来訪者にとって利用しやすく持続可能な公共交通ネットワークの形成に向け取組を進めている。そうした中で、市民の日常生活における移動手段として、また、観光やビジネスで本市を訪問される方の二次交通として、自転車利用の可能性を検証するため、令和2年9月にシェアサイクル実証事業を開始した。開始以降、順次サイクルポート（以下、「ポート」という。）や自転車を増台し、令和8年2月末時点で、ポート44か所、普通自転車120台、電動アシスト付き自転車20台で運用している。

この間、積極的な周知やポート・自転車台数の増加に伴い、令和2年度は1,101件だった利用件数も令和6年度は17,917件に増加しており、アプリの累計アカウント数も1万人を超える等、認知・定着化が進むとともに、利用料金収入も増加してきた。

その一方で、アプリ内の御意見フォームや利用者アンケートの結果から、サービスの改善を求める声も確認している。また、事業拡大によるポートや自転車のメンテナンスにかかるコストが増加傾向にあるため、令和7年度においてイニシャルコストおよびランニングコストを削減するとともに、令和7年5月に利用料金を改定した。その結果、利用件数は若干減少したものの、利用料金収入は令和6年度と比較し約1.4倍に増加したが、本事業を安定的かつ持続可能なものとするために、更なる事業採算性の向上が課題となっている。

本報告書では、実証期間のうち、令和2年9月から令和8年2月までの利用件数や利用料金収入、各ポートごとの利用件数、利用者アンケートの結果の報告にくわえ、実証事業を続ける中で見えてきた事業の課題を明確にし、本事業の目指す姿を示すことで、令和8年10月に予定している本格運用に役立てるものとする。

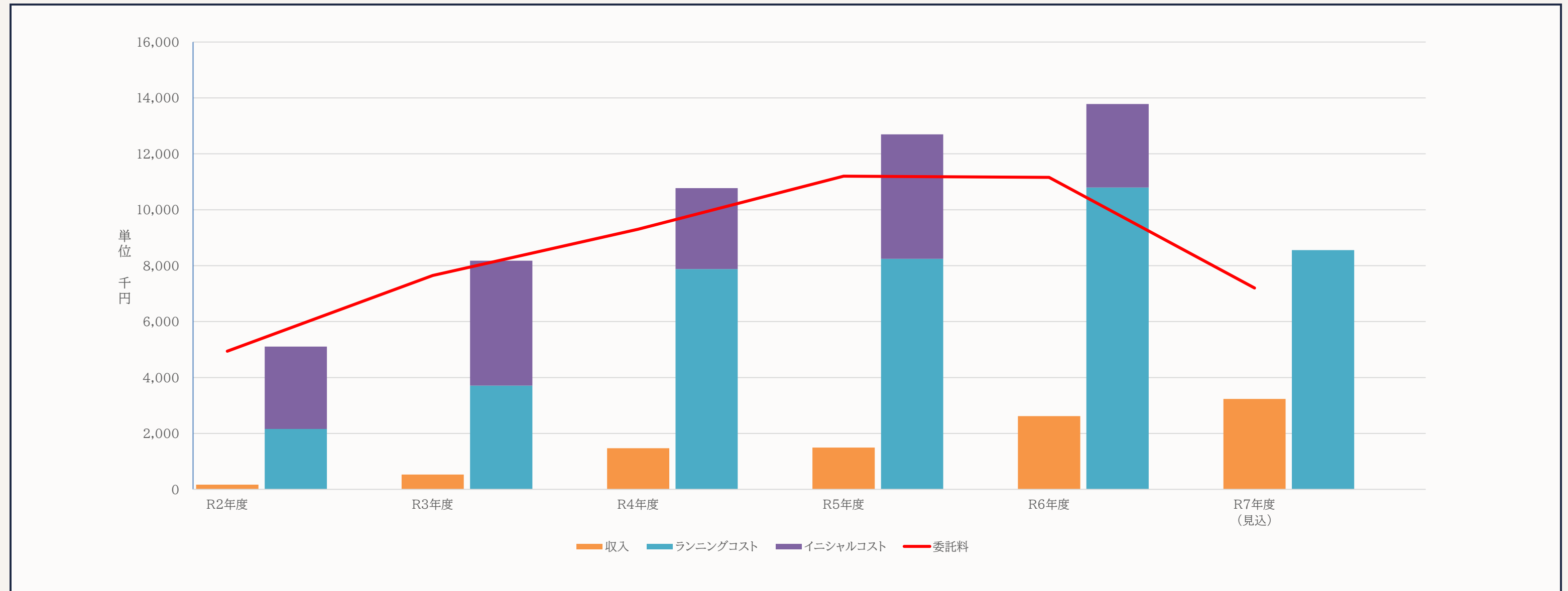
02 利用件数と利用料金収入の推移（令和2年9月～令和8年2月）



●令和7年5月の利用料金改定前の利用傾向を15分単位で見ると、15分未満の利用が51.9%、15分以上30分未満の利用が20.1%となっている。なお、令和7年5月の利用料金改定後も、15分未満の利用が45.8%、15分以上30分未満の利用が27.5%となっていることから、料金改定に伴って利用時間の単位が変わったことにより、15分以上30分未満の利用が若干増えたものの、本市の利用者は、大半が15分未満であることが分かっている。

●令和7年5月の利用料金改定により、利用件数は前年比（5月～2月）で20%程度減少したが、その内訳は普通自転車が22%、電動アシスト付き自転車が12%となっており、普通自転車の減少幅の方が大きくなっている。特に、令和8年1月と2月は、前年同月と比べて電動アシスト付き自転車の利用が多く、料金改定後も高いニーズがあることが分かっている。

03 利用料金収入と費用の推移（令和2年度～令和7年度見込）



●令和7年5月の利用料金改定とイニシャルコストの削減、ランニングコストの圧縮により、令和7年度は委託料を大きく削減できる見込みとなっているが、持続可能な事業とするためには採算性の課題が残っている。

04 ポート数と自転車台数、サイクルラック数の推移

月日	事項	ポート数	自転車台数	サイクルラック数
R2.9.4	山口県庁前バス停(8台)、山口市役所(12台)、一の坂川交通交流広場(6台)、コープやまぐちこことどうもん店(6台)、山口駅 駐輪場(12台)、市教育委員会(6台)※R7.3YCAM・市立中央図書館へ移設、ホテルニュータナカ(8台)※R6.4廃止、湯田温泉駅 駐輪場(6台)、新山口駅 駐輪場(3台)※R4.4に風の並木通りへ移設、平成公園(6台)を新設、普通自転車40台で開始	10	40	73
R2.10.23	湯田温泉駅駐輪場(6台⇒12台) 台数変更			79
R2.10.29	市教育委員会(6台⇒12台) 台数変更			85
R2.11.18	山口大学(6台)、アルク平川店(6台)、ファミリーマート山口泉都町店(8台)※R8.9で廃止を新設	13(+3)		105
R3.4.1	山口ふるさと伝承総合センター(6台)、小郡総合支所(6台)、KDDI維新ホール駐輪場(6台)新設、普通自転車10台追加	16(+3)	50	123
R3.6.16	県庁前バス停(8台⇒14台)、一の坂川交通交流広場(6台⇒12台)、コープこことどうもん店(6台⇒12台)台数変更			141
R4.2.20	維新公園レノ丸ステーション(12台)新設	17(+1)		153
R4.4.1	山口県立大学グラウンド側交差点(6台)、寺内公園(6台)、県立図書館(6台)、山口井筒屋(6台)、山口県労働者福祉文化中央会館(6台)、防長苑(6台)、湯田地域交流センター(6台)※R4.6移設 新設、新山口駅 駐輪場(3台)を風の並木通り(6台)へ移設、普通自転車20台追加	24(+7)	70	198
R4.6.27	湯田地域交流センター(6台)をサンフレッシュ山口(6台)へ移設			
R4.8.1	香山公園前観光案内所駐輪場(6台)、アルク小郡店(6台)新設	26(+2)		210
R4.10.10	史跡大内氏遺跡(4台)新設	27(+1)		214
R5.1.4	山口市民館前交差点(6台)新設	28(+1)		220
R5.4.1	新町商店街(千歳橋)(4台)、ニューメディアプラザ山口(6台)、井上公園(6台)、山口駅西交差点(12台)、自転車30台追加、ファミリーマート泉都町(8台⇒16台)台数変更	32(+4)	100	256
R5.10.13	コープここといずみ店(6台)PT新設、山口大学(6台⇒10台)、アルク平川(6台⇒12台) 台数変更	33(+1)		272
R5.12.1	プリムールあおい(6台)新設	34(+1)		278
R6.4.1	ホテルニュータナカ(8台)廃止	33(-1)		270
R6.4.1	山口県山口総合庁舎(6台)新設	34(+1)		276
R6.4.15	電動アシスト付自転車20台導入		120(+20)	
R6.10.18	山口地方合同庁舎(4台)、菜花道門パーキング(6台)、県立山口博物館(6台)、亀山公園駐輪場(4台)、亀山公園(美術館北側)(6台)新設、普通自転車10台追加	39(+5)	130(+10)	302
R6.12.2	宮野駅(6台)、湯田温泉ユウベルホテル松政(6台)新設	41(+2)		314
R6.12.18	NTT西日本 山口支店(6台)新設、普通自転車10台導入	42(+1)	140(+10)	320
R7.1.16	(6台)新設、亀山公園(美術館北側)を県立美術館に改名。県立山口博物館(6台)、亀山公園駐輪場(6台)廃止	41(-1)		314
R7.2.3	イオンタウン小郡 マックスバリュ前(8台)新設	42(+1)		322
R7.3.31	山口市教育委員会(12台)をYCAM・市立中央図書館(12台)へ移設			
R7.5.30	湯田温泉こんこんパーク(8台)新設	43(+1)		330
R7.7.24	ホテル喜良久新設(6台)	44(+1)		336
今後の予定	R8.5 NTT西日本 山口支店 (6台⇒14台) 予定 中原中也記念館・狐の足あと専用駐車場 (6台⇒12台) 予定			

05 ポートの位置と傾向

ポート一覧 ※2023年4月1日現在

- 山口県立大学グラウンド側交差点
- 寺内公園
- 宮野駅
- 湯田温泉駅前観光案内所 (湯田温泉駅前、湯田温泉)
- 史跡大内氏遺跡
- 山口ふるさと伝承館センター (竹原駅前、湯田温泉、八幡町)
- 山口県庁前 バス停 (山口県庁前、山口大学)
- 県立図書館 (湯田温泉、一の宮)
- 県立美術館 (湯田温泉、湯田温泉)
- 山口地方会館 (湯田温泉、一の宮)
- 山口市役所 (サニール記念館、市役所、湯田温泉、一の宮)
- 山口市会館 (湯田温泉、湯田温泉)
- 一の宮川交通交流広場 (一の宮、中心部)
- 新町商店街 (千歳橋) (中心部)
- 山口市会館 (中心部)
- コープやまぐちことどうもん店 (中心部、山口大学)
- 湯田温泉パークキング (中心部)
- 山口駅 駐輪場 (山口駅、山口大学)

利用料金(Fee)
 普通自転車 最初の30分100円 (以降10分ごとに50円)
 8時間未満上限1,500円
 ¥100/first 30 min
 ¥50/per extra 10 min
 Max. ¥1,500/8hour
 電動アシスト付自転車 最初の30分200円 (以降10分ごとに100円)
 4時間未満上限1,500円
 ¥200/first 30 min
 ¥100/per extra 10 min
 Max. ¥1,500/4hour
 ※返却時に料金を徴収させていただきます

山口・湯田温泉エリア YAMAGUCHI YUDAKENJI Area

小郡エリア OGORI Area

山口市観光情報サイト 『西の京やまぐち』
 Tourist Information on YAMAGUCHI
 ※シェアサイクルを利用して市内観光や散策をお楽しみください。

ecobike 山口県 山口市内 ポート配置MAP

★マップ記載の6か所ではヘルメットの貸出を行っております。(Free helmet rental)
 湯田温泉駅前観光案内所 9:00-18:00 年中無休
 山口ふるさと伝承館センター 9:00-17:00 (休館日: 8月14日-8月16日、12月29日-1月5日)
 山口市役所(本庁) 6:30-17:15 (開庁日: 土曜日、年末年始)
 山口県庁前バス停 9:00-18:00 年中無休
 湯田温泉駅前観光案内所 9:00-18:00 年中無休
 山口駅前観光案内所 9:00-18:00 年中無休

小郡エリア OGORI Area

- 中津中世記念館・猫の足あと専用駐輪場 (湯田温泉、猫の足あと)
- コープやまぐちことどうもん店
- 井上公園 (湯田温泉)
- 湯田温泉駅 駐輪場
- プリムールあおい
- アルク平川店 (山口大学)
- 山口大学
- 湯田温泉レノバスステーション (湯田温泉、湯田温泉)
- 小郡総合支所 (小郡駅前)
- アルク小郡店
- KDDI湯田温泉駅前駐輪場 (湯田温泉北口)
- 湯田温泉駅前観光案内所 (湯田温泉北口、山口大学)
- 平成公園
- イオンタウン小郡 マックスバリュ前
- ホテル喜良久 (湯田温泉街)

- ポート配置は山口市コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくり計画の山口都市機能誘導エリア及び小郡都市機能誘導エリアを中心としている。
- サイクルポート間移動は、山口大学、アルク平川店⇄湯田温泉駅前駐輪場が最も多い。
- サイクルポート単独では、上記ポートのほか、山口駅前駐輪場や山口市役所、県庁前バス停、コープやまぐちことどうもん店等の山口エリアや湯田温泉駅前駐輪場、ファミリーマート泉都町、井上公園等の湯田温泉エリアの利用が多い。
- 特に週末は山口エリアから湯田温泉エリアのポート移動が多く、湯田温泉エリアに自転車が滞留する傾向にある。

06 御意見フォームやコールセンターへの改善要望

●アプリ内の御意見フォームやコールセンターへの改善要望として多かった内容 (令和7年4月～令和8年2月 件数：323件)

①貸出・返却に関するシステムトラブル

- ・Bluetooth通信が上手くいかず、貸出・返却処理ができない。
- ・返却したのにアプリ上では貸出中になっている。

②鍵のトラブル

- ・車両を借りたが鍵が開かず利用できない。
- ・鍵が閉まらず一時駐輪できない。一時駐輪中に鍵が開かなくなった。

③その他

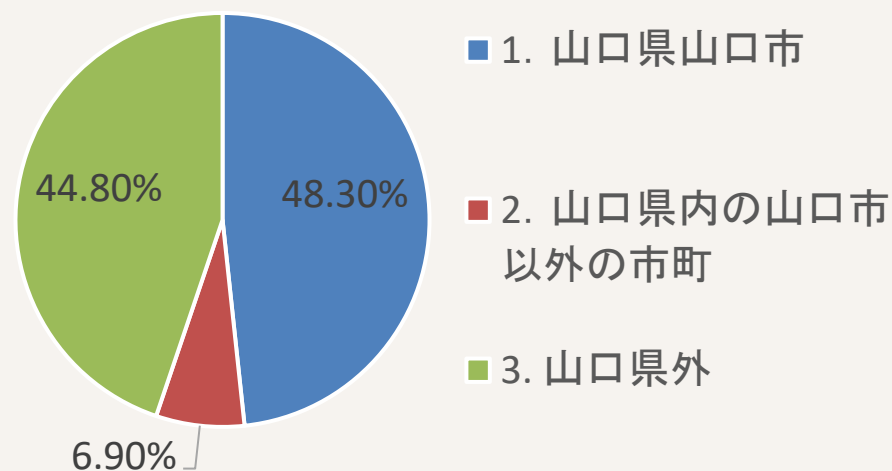
- ・スマホ1台で2台利用できるかという問い合わせ
- ・電動アシスト付き自転車の所在（現在の設置ポート）に関する問い合わせ

07 令和7年度利用者アンケートの結果 ①

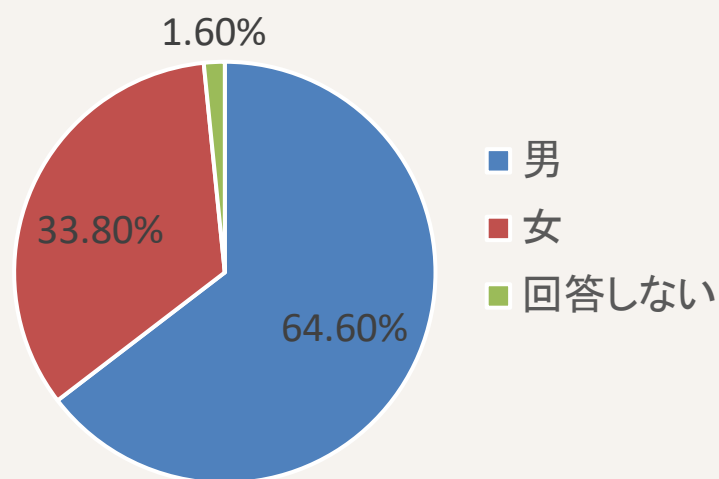
■回答件数：436件
■アンケート回答者

・ ecobikeアプリでアカウント登録中の方(退会者を除く)
・ アカウントのエリア選択で「山口市」を選択している方及び、「山口市」にチェックを入れていないが山口市で利用したことがある方

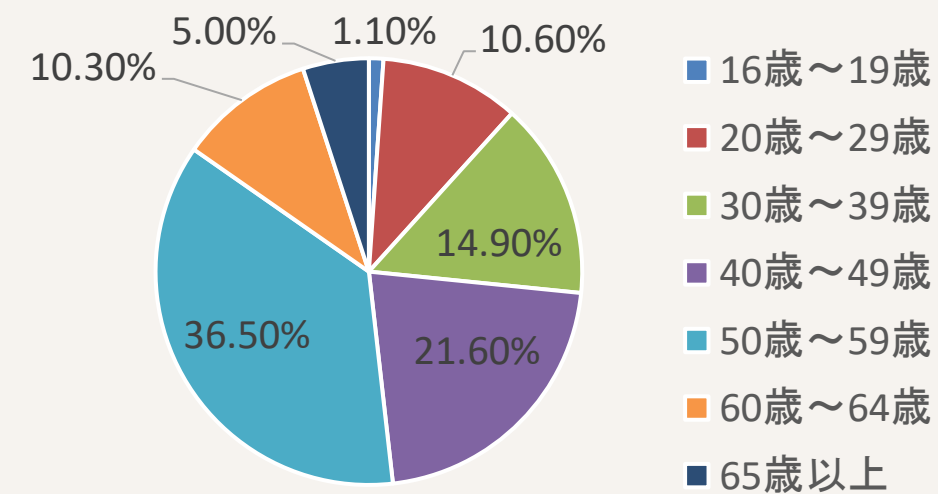
●お住まいのエリア



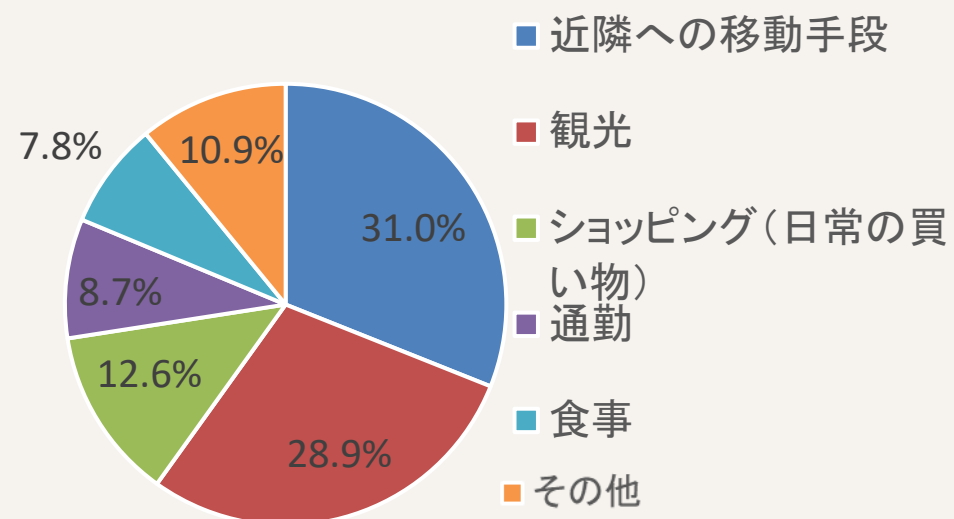
●利用者の性別



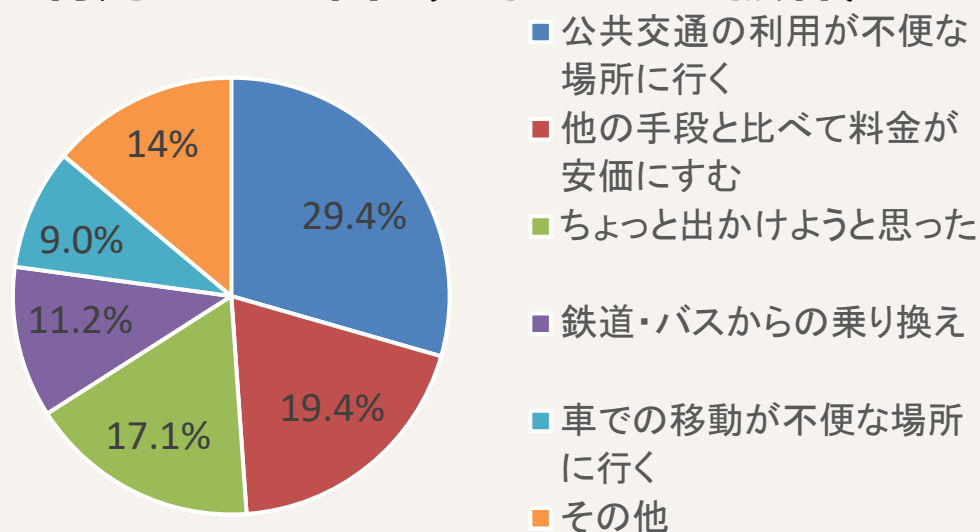
●利用者の年齢層



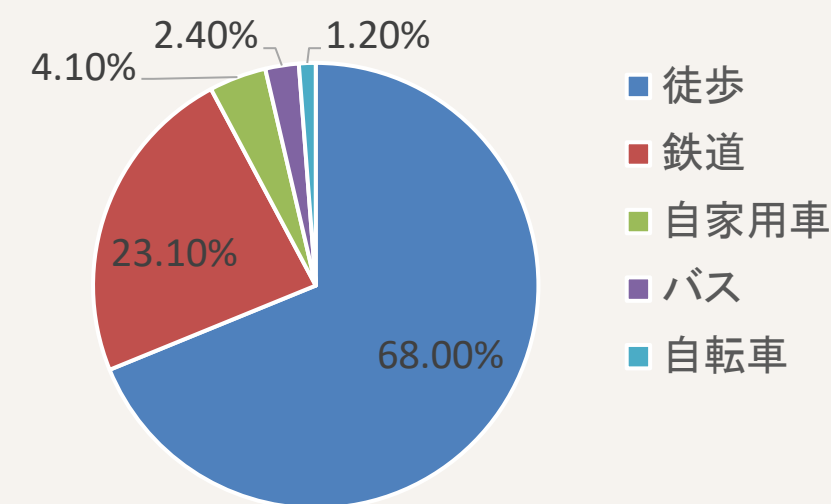
●利用目的（上位5つを抜粋）



●利用する理由（上位5つを抜粋）



●ポートまでの移動手段（上位5つを抜粋）

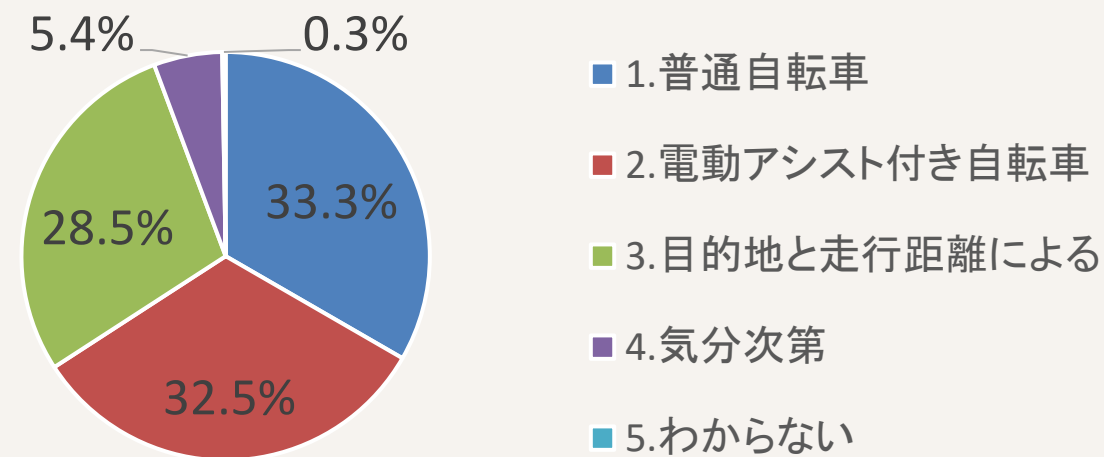


●山口市内にお住まいの方は半分に留まり、市外の方が半分を超えた。利用目的が「観光」と答えた方が3割いることから、一定数観光やビジネスで本市を訪問された方が利用していると推測される。

●ポートまでの移動手段は1位が「徒歩」、続いて「鉄道」となった。「今後新規でポートを設置する場合の場所」についての設問の中で、「駅」が最も多かったことから、「徒歩」移動のほかに、鉄道からシェアサイクルに乗り換えて目的地まで移動している利用者が多くいると考えられる。

07 R7年度利用者アンケートの結果 ②

●借りたいポートに普通自転車と電動アシスト付き自転車が両方あった場合、どちらを利用することが多いですか。

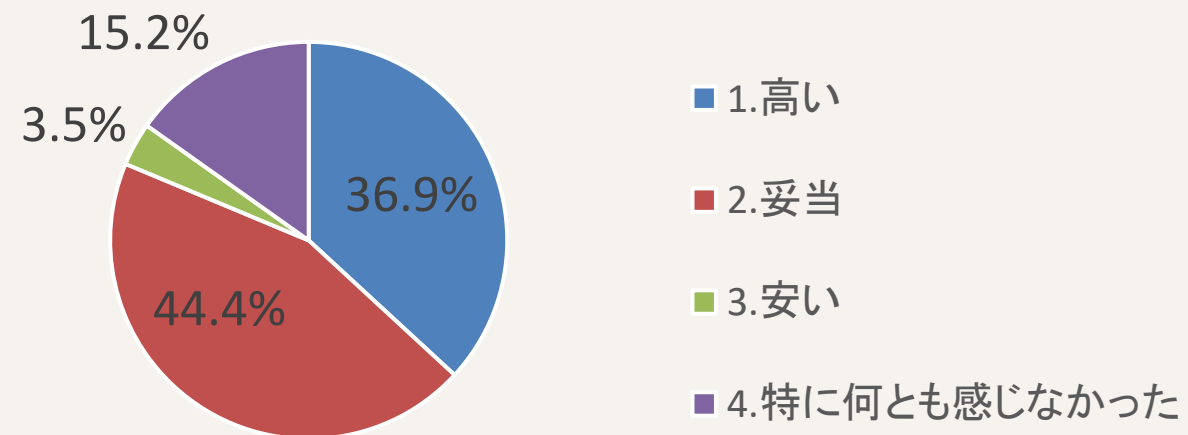


●普通自転車と電動アシスト付き自転車、どちらも利用者ニーズがあることが分かった。また、目的地や距離で使い分けている利用者も多い。

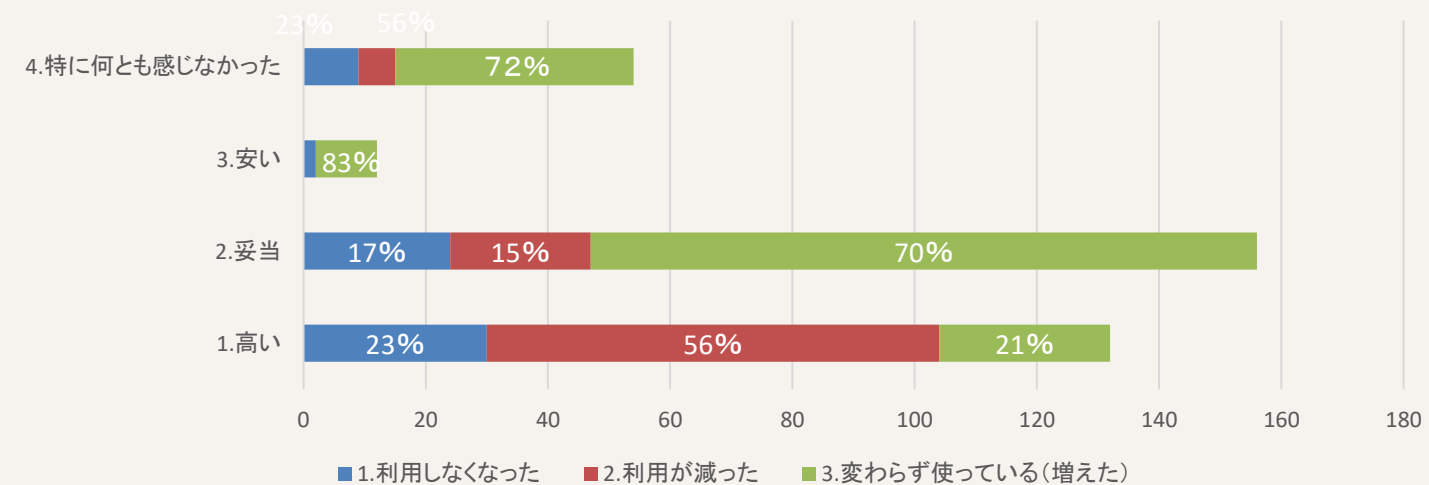
ただし、別の設問「今後シェアサイクルを利用するにあたって、重要視することは何ですか」に対しては、電動アシスト付き自転車を求める回答数が普通自転車を求める回答数の3倍となっていることから、電動アシスト付き自転車への潜在的なニーズは高い。また、自由記述欄で、「使いたいののに、どのポートにも電動アシスト付き自転車がない」と回答した方も多くいる。

※R7年度

●令和7年5月に利用料金を改定しましたが、その利用料金についてどう感じましたか。その後の利用状況は？



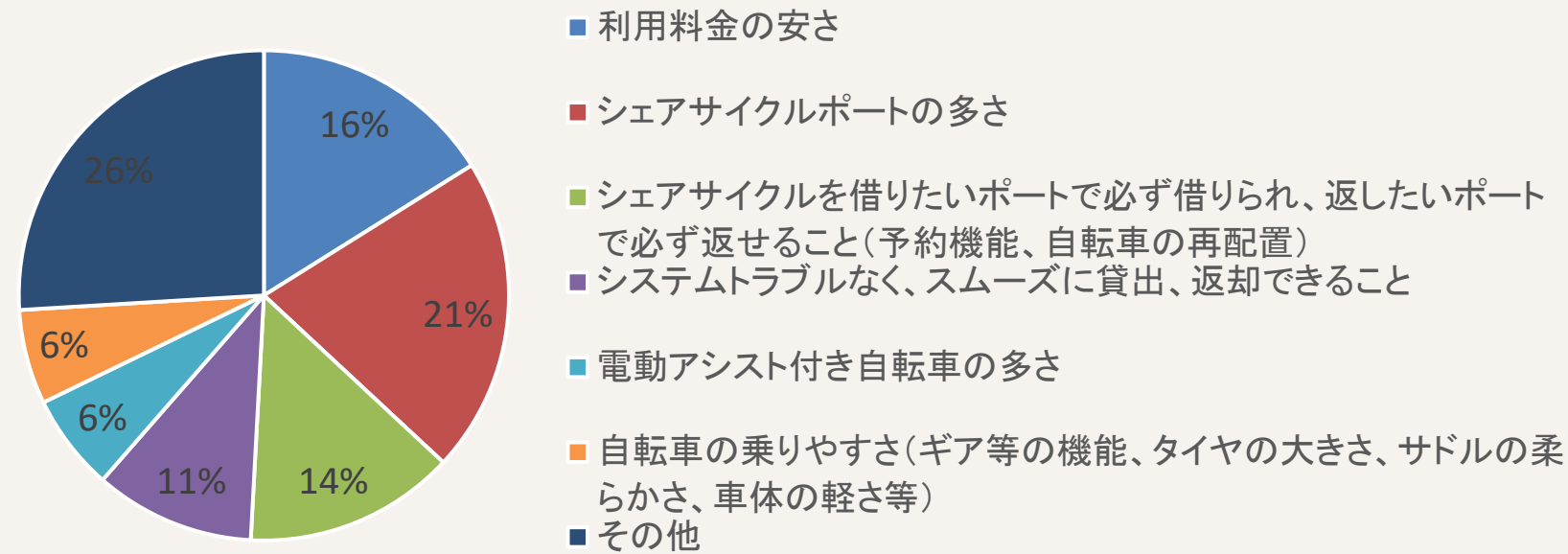
※R7年度



●料金改定については、「高い」を感じた利用者が36.9%存在し、「高い」と感じた利用者のうち、8割が利用控えや利用離れに繋がっているが、「高い」以外を選択した利用者は、7割以上が「変わらず使っている(増えた)」回答した。想定していたよりも肯定的な意見が多かったが、本事業を持続可能なものにするため、利用控え、利用離れにならない料金設定のラインを精査する必要がある。

07 R7年度利用者アンケートの結果 ③

●今後シェアサイクルを利用するにあたって、重要視することは何ですか。（上位5つを抜粋） ※複数回答。総回答数1519件



- 「利用料金の安さ」「シェアサイクルポートの多さ」「シェアサイクルを必ず借りられ返せること」を重要視する声が上位3位を占めた。
- 続いて「システムトラブルなく借りられること」「電動アシスト付き自転車の多さ」「自転車の乗りやすさ」となった。
- 6位から10位は、「決済方法の充実」「多様な料金プラン」「トラブルにあったときの対応」「利用方法の分かりやすさ」となった。

●今後シェアサイクルを利用するにあたって、重要視することは何ですか（自由記述）。 ※自由記述。上位5件のみ

- ・ Googleマップとの連携
- ・ ポートが使いたい場所に設置されていること
- ・ 満車で返却ができない場合の対応
- ・ 自転車のメンテナンス体制
- ・ 利用料金の単価設定の見直し

●今後新規にポートを増やす場合、どこにあればより便利になると思いますか。 ※自由記述。上位10件のみ。 ※個別施設と総称混在

駅	ゆめタウン	コンビニ	バス停	スーパーマーケット
観光地	住宅街	大内	フジグラン山口	ショッピングセンター

- 新規ポートの要望としては、市内の駅に設置して欲しいという声が最も多かった。
- 地域別に見ると、既にポートがある地域である「小郡」、現在ポートがない地域である「大内」「平川」「吉敷」「阿知須」にある施設名を回答した利用者が多かった。

08 実証事業で見えてきた課題

システムトラブルの改善

- ・貸出・返還処理ができない
- ・鍵が開かない

電動アシスト付き自転車が少ない

- ・ポートに電動アシスト付き自転車がない

最適なポート配置が実現できておらず、ポートから目的地等が遠い

- ・ポート数が少ない
- ・借りたい場所、返したい場所にポートがない

効果的な自転車偏在対策を講じられていない。予約機能がなく、貸出・返却が確約できない

- ・ポートが満車で返せない（特に湯田温泉エリアが満車傾向にある）
- ・借りたいポートに自転車がない

利用者ニーズに応じたきめ細やかなサービス提供ができていない

- ・Googleマップと連携できていない
- ・決済方法の充実
- ・自転車のメンテナンス体制
- ・多様な料金プラン

安定的かつ持続可能な事業となっていない

- ・最適な料金設定となっていない
- ・毎年恒常的な委託料の支払いがある

09 今後目指すべき姿

システムトラブルの改善

